

Q

耳に虫が入ったときの
対処法は？

● 回答者

笠井耳鼻咽喉科クリニック
自由が丘診療室
笠井 創

55歳、男性。同僚がハイキングの途中、耳の中に虫が入り、自分では耳から出たと思っていたらしいのですが、実は死骸が残っていて、それが原因で鼓膜の手術を受けました。私もハイキングにはよく行くので、心配になりました。耳に虫が入った場合の対処法を教えてください。(福岡県 〇)

A 食用油などを注入して虫をおとなしくさせる。 耳に少しでも違和感があれば受診を

ガヤハチ、ハエやカ、コガネムシ、ゴキブリ、ムカデ、ダニなどさまざまな種類の小さな虫が耳の中にもぐり込んでくる場合があります。とくに、春先から秋までの生き物の活動が盛んな時期の屋外では、外耳道に小さな虫が入る機会が多くなります。冬の屋内でも暖房の効いた住環境では、小型のゴキブリ、クモなどが耳に入ることもあります。

いったん耳の奥に入ってしまうと、後ずさりできない虫は、外耳道深部や鼓膜表面で足を動かして暴れるため、ガサゴソと驚くほどの大きな音がして、強い痛みが出ます。びっくりして指先や耳かき、綿棒などを入れると、虫を刺激してしまい、かえって動きが激しくなります。

小さな虫であれば、耳を明るくほうへ向けると出てくれることもあります。しかし、光が刺激になつて中で暴れるだけで出てこないことも多く、必ずしもよい結果が

得られるとは言えません。

いちばん大切なことは、まず虫をおとなしくさせることです。できれば殺せることよいのですが、安易に殺虫液を耳の中に入れるのは危険です。外耳道や鼓膜を腐食したり、鼓膜に穴が開いている場合には内耳に重大な障害を残す恐れがあります。

とつさの事態で使える安全で効果的な方法としては、油を外耳道の入り口まで浸るくらいにたっぷりと耳の中に注入して、虫が呼吸できなくすることだといわれています。食用油、オリーブ油、ベビーオイルのようなものでもよいでしょう。ただし、少量の中途半端な入れ方ですと、かえつてもがき暴れさせることもあるので注意が必要です。

虫が耳から出たか確認できない

◆ 耳とその周囲の構造



外耳道に小さな虫が入り込み、「外耳道異物」になることがある。殺虫スプレーを噴射すると、中耳や内耳にまで悪影響を及ぼす危険があるので厳禁。

場合や、耳に少しでも違和感が残る場合には、必ず耳鼻咽喉科で診てもらいましょう。

耳鼻咽喉科で行う処置としては、まだ生きている虫の場合は、麻酔液やアルコールなどを外耳道に注入して動かなくします。そのうえで、外来手術用顕微鏡のもつて異物除去用のさまざまな鉗子類を用いて、外耳道や鼓膜などの周囲組織に損傷を与えないように処置します。